

別表2

(2024-1回)

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ゆうぐれ</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 平岡 瞳</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	1		書名	ゆうぐれ	著者等	作 平岡 瞳	出版社	小学館	定価	2,500	対象	小学校低学年～	発行	2023年11月	<p>夕方、公園で遊ぶ子どもたちにお日さまの光が近づいてきます。子ども達は、それぞれに夕暮れの光を浴びながらお家へと帰っていきます。ページ全面に絵が描かれているのではなく、大きな窓から夕暮れの景色を眺めているような感じで描かれています。夕暮れの光のあたたかさや一日が終わっていくことの寂しさを感じます。カラスの親子が飛んでいき、それをみた犬が吠えています。そして、夕暮れの色がだんだん濃くなっていきます。この本を見ると、自分にとっての大切な夕暮れを思い出すかもしれません。今日一日を無事に終えることができたことへの感謝や、明日への希望や明日も頑張ろうとする元気など様々な気持ちを感じることができる素敵な絵本です。</p> <p>(分類番号 726)</p>
1																
書名	ゆうぐれ															
著者等	作 平岡 瞳															
出版社	小学館															
定価	2,500															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>きつねがはしる チェコのわらべうた</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>編訳 木村有子 絵 ヨゼフ・ラダ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>岩波書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	2		書名	きつねがはしる チェコのわらべうた	著者等	編訳 木村有子 絵 ヨゼフ・ラダ	出版社	岩波書店	定価	1,100	対象	小学校低学年	発行	2023年11月	<p>チェコでは、幼い子どもにわらべうたをきかせる習慣があり、なかでもチェコの国民的画家であるヨゼフ・ラダのわらべうた絵本はとくに愛されています。今にもしゃべりだしそうな動物たちや、子どもたちの遊びや昔の暮らしのひとこまがわかるような素朴でかつユーモラスなラダの絵で味わう、わらべうたが38編収録されています。「こいぬとこねこ」や「きつねがはしる」はチェコの子どものみならずでも歌うことができます。声に出して読むとさらに楽しい、わらべうた絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
2																
書名	きつねがはしる チェコのわらべうた															
著者等	編訳 木村有子 絵 ヨゼフ・ラダ															
出版社	岩波書店															
定価	1,100															
対象	小学校低学年															
発行	2023年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>こまいぬ ぼしゅうちゅう</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作・絵 尾崎玄一郎 尾崎由紀奈</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ひさかたチャイルド</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	3		書名	こまいぬ ぼしゅうちゅう	著者等	作・絵 尾崎玄一郎 尾崎由紀奈	出版社	ひさかたチャイルド	定価	1,300	対象	小学校低学年	発行	2023年11月	<p>300年も昔から、神社を守ってきた狛犬の「あーあ」と「うんうん」がこの絵本の主人公です。おしゃべりな「あーあ」といつも黙っている「うんうん」。ある日、「どろぼうが こわいのだろう？」と「あーあ」に言われた「うんうん」は怒ってしまい、どこかへ行ってしまいます。そこで、「あーあ」は「こまいぬぼしゅうちゅう」という看板を出して相棒を募集しますが……。全国津々浦々、それぞれの地域や年代によって異なる狛犬の魅力にはまった作者の尾崎さんが描くダイナミックなイラストとユーモラスなストーリーが読む人たちの心をとらえます。この本を読んだ後には、身近な神社にいる狛犬に会いたくなることでしょう。</p> <p>(分類番号 726)</p>
3																
書名	こまいぬ ぼしゅうちゅう															
著者等	作・絵 尾崎玄一郎 尾崎由紀奈															
出版社	ひさかたチャイルド															
定価	1,300															
対象	小学校低学年															
発行	2023年11月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>みんな、空をとべる</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 ジャクリーン・ウッドソン 訳 都甲幸治 絵 ラファエル・ロペス</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>汐文社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年10月</td> </tr> </table>	4		書名	みんな、空をとべる	著者等	作 ジャクリーン・ウッドソン 訳 都甲幸治 絵 ラファエル・ロペス	出版社	汐文社	定価	1,800	対象	小学校低学年～	発行	2023年10月	<p>私と弟が退屈している時やけんかをしている時やさびしい時に、おばあちゃんはいつも話してくれます。「2本のうでを上げ、ふたつの目をとじて、ふかくいきをすいこみ、しんじるの。」そして、私たちは、空をとぶことができるようになりました。おばあちゃんは、このおまじないのような言葉を自分より前にここに来た親戚の人々に習いました。大きな船で運ばれてきて、手首や足首に鉄の鎖を繋がれていたけれど、「だれもあなたのきれいにきらめく心をつなぐことはできない」と。国際アンデルセン賞受賞作家、ジャクリーン・ウッドソンによる、「みんなとちがうきみだけど」からうまれたもう一つの物語であり、今でもある人種差別について、わかりやすく学ぶことができる絵本です。</p> <p>(分類番号 726)</p>
4																
書名	みんな、空をとべる															
著者等	作 ジャクリーン・ウッドソン 訳 都甲幸治 絵 ラファエル・ロペス															
出版社	汐文社															
定価	1,800															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年10月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>水は うたいます</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>詩 まど・みちお 絵 nakaban</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>理論社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校低学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年11月</td> </tr> </table>	5		書名	水は うたいます	著者等	詩 まど・みちお 絵 nakaban	出版社	理論社	定価	1,900	対象	小学校低学年～	発行	2023年11月	<p>まど・みちおさんは、すぐそばにある何気ないものに驚き続け、何度でも世界を発見しなおしてきた素晴らしい詩人です。まど・みちおさんは、今から約60年前に「水は うたいます」という詩を発表しました。まど・みちおさんの詩という楽譜を、nakabanさんが絵筆で奏でたことでこの絵本は生まれました。この絵本の音楽に耳と心を澄ませしてみると、私たちもすぐそばにある「奇跡」に気づくことができるかもしれません。没後10年を記念して刊行が続く「まど・みちおの絵本」シリーズの一冊です。</p> <p>(分類番号 726)</p>
5																
書名	水は うたいます															
著者等	詩 まど・みちお 絵 nakaban															
出版社	理論社															
定価	1,900															
対象	小学校低学年～															
発行	2023年11月															

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">6</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>きこえないこえ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>作 内田麟太郎</td> </tr> <tr> <td>絵 竹上妙</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>佼成出版社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校中学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2024年1月</td> </tr> </table>	6		書名	きこえないこえ	著者等	作 内田麟太郎	絵 竹上妙	出版社	佼成出版社	定価	1,400	対象	小学校中学年～	発行	2024年1月	<p>ゾウやクジラなどの生き物は鳴き声とは別に、人間には聞き取ることのできない超低周波で仲間同士のコミュニケーションを測ることができると言われている。密猟者の乱獲により島で最後の一人となった老いたメスのゾウが、岬へとやってくる。沖には彼女の友であるクジラが姿を現す。最後のゾウは友に、これまで切ない過去の出来事を人間には聞こえない声で語り出す。今もこの世界で起こっている人間の身勝手さがもたらす「悲しみ」を静かに語りかける物語。</p>
6																	
書名	きこえないこえ																
著者等	作 内田麟太郎																
	絵 竹上妙																
出版社	佼成出版社																
定価	1,400																
対象	小学校中学年～																
発行	2024年1月																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">7</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>わたしは あなたは ベアトリーチェがアジザの、アジザがベアトリーチェの伝記を書く話</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>作 ジューズィ・クアレングィ</td> </tr> <tr> <td>訳 よしとみあや</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>解放出版社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校中学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年12月</td> </tr> </table>	7		書名	わたしは あなたは ベアトリーチェがアジザの、アジザがベアトリーチェの伝記を書く話	著者等	作 ジューズィ・クアレングィ	訳 よしとみあや	出版社	解放出版社	定価	1,800	対象	小学校中学年～	発行	2023年12月	<p>司書のマリーナさんが考えた図書館のワークショップの今年のテーマは「ペアを組んだ相手の伝記を書くこと」だった。互いに名前を知っている程度だったベアトリーチェとアジザがペアを組むことになり、二人は伝記を書くために互いのことをいっしょに調べ始める。イタリアで産まれて家族と暮らす8歳のベアトリーチェと、モロッコで産まれて今は家族と離れて暮らす10歳のアジザ。産まれた国も、最初に覚えた言語も違う二人が互いのことを知る中で友情を育む。互いを知ることの大切さを感じられる物語。</p>
7																	
書名	わたしは あなたは ベアトリーチェがアジザの、アジザがベアトリーチェの伝記を書く話																
著者等	作 ジューズィ・クアレングィ																
	訳 よしとみあや																
出版社	解放出版社																
定価	1,800																
対象	小学校中学年～																
発行	2023年12月																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">8</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>作 市川宣子</td> </tr> <tr> <td>絵 高橋和枝</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ポプラ社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校中学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年10月</td> </tr> </table>	8		書名	サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません	著者等	作 市川宣子	絵 高橋和枝	出版社	ポプラ社	定価	1,500	対象	小学校中学年～	発行	2023年10月	<p>「4年3組の黒須三太くんにおねがいの手紙を書けば、クリスマスにはいいものもらえる」その名前からこんなうわさが1年生に広がり、三太の靴箱にはお願いの手紙が届くので、三太は少々うんざりしています。さて、本物のサンタクロースが行方不明なり、毎年100万人のサンタクロース代理が指名されるようになって100年ばかりです。三太はひょんなことから今年のサンタクロースに指名されてしまいます。三太は事情を知るとやくと和人といっしょにサンタの仕事をし始めるのですが、問題が起こってしまい……。みんなが知るクリスマスの、誰も知らない物語。</p>
8																	
書名	サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません																
著者等	作 市川宣子																
	絵 高橋和枝																
出版社	ポプラ社																
定価	1,500																
対象	小学校中学年～																
発行	2023年10月																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">9</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>こども資源マップ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>監修 柴田明夫</td> </tr> <tr> <td>著 バウンド</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>カンゼン</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年10月</td> </tr> </table>	9		書名	こども資源マップ	著者等	監修 柴田明夫	著 バウンド	出版社	カンゼン	定価	1,500	対象	小学校高学年～	発行	2023年10月	<p>エネルギー資源、レアメタル、貴金属、ベースメタル、食糧資源など、わたしたちの暮らしを支えている様々な「資源」が紹介されています。何に使われているかはもちろん、国内自給率はどのくらいか、どのくらいを輸入に頼っているか、その相手国はどこかなどもわかりやすく紹介されています。実は身近な「資源」を通して世界の国々と日本との関わりが見えてきます。また、この先の未来で期待される「資源」やどうやって「持続可能な資源」にして行くかに目が向くきっかけとなる本です。</p>
9																	
書名	こども資源マップ																
著者等	監修 柴田明夫																
	著 バウンド																
出版社	カンゼン																
定価	1,500																
対象	小学校高学年～																
発行	2023年10月																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">10</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ぼくたちのいばしょ〜 亀島小多国籍探偵クラブ〜</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">著者等</td> <td>作 蒔田浩平</td> </tr> <tr> <td>絵 酒井 以</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>文研出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2023年5月</td> </tr> </table>	10		書名	ぼくたちのいばしょ〜 亀島小多国籍探偵クラブ〜	著者等	作 蒔田浩平	絵 酒井 以	出版社	文研出版	定価	1,400	対象	小学校高学年～	発行	2023年5月	<p>春馬と秀則は6年1組の新聞委員。ホームズを気取っている秀則は持ち前の推理力でクラスで起こる事件の謎を解き、記事にしてしまう探偵記者です。1組にはネパールから引っ越してきたサラダがいるが、日本語をまだわからないこともありクラスになじめずにいました。ひょんなことからサラダが新聞委員のメンバーに加わることになり、二人はサラダがどんな子なのか知っていきます。日本語がわからないサラダと新聞を作るために、三人は日本語とネパール語を勉強していくことに。ところがそんなとき、クラスである事件が起こってしまいます。</p>
10																	
書名	ぼくたちのいばしょ〜 亀島小多国籍探偵クラブ〜																
著者等	作 蒔田浩平																
	絵 酒井 以																
出版社	文研出版																
定価	1,400																
対象	小学校高学年～																
発行	2023年5月																

(分類番号 726)

(分類番号 973)

(分類番号 913)

(分類番号 334)

(分類番号 913)



	<p><b>11</b></p> <p>書名 原発事故、ひとりひとりの記憶 —3. 11から今に続くこと</p> <p>著者等 著 吉田千亜</p> <p>出版社 岩波書店</p> <p>定価 960</p> <p>対象 中学生～</p> <p>発行 2024年2月</p>	<p>2011年3月11日に起きた東日本大震災。地震、津波に続き原子力発電所の放射能漏れが心配される中、ついに爆発事故が発生した。この原発事故から10年余り、フリーライターである著者は福島と東京を往復しながら被災者、避難した人々、避難しなかった人々に熱意をもって丁寧に取材を重ねてきた。事故当時から今に続く18人の歩んだ道のりを紹介、避難までの情報の混乱、葛藤、避難先で受けた心無い言葉、転校先で子どもたちが受けたいじめ、そして甲状腺がんになり患した子どもたちがいる現実、原発事故はまだ終わっていない。「復興」「未来」に希望を感じる今だからこそ、当事者の声や事故の記憶を風化させてはいけないと心に刻まれる一冊。</p> <p>(分類番号 369)</p>
	<p><b>12</b></p> <p>書名 こんな部活あります あしたをみかけ 姫川中学校みがき部</p> <p>著者等 作 横沢彰 絵 佐藤真紀子</p> <p>出版社 新日本出版社</p> <p>定価 1,500</p> <p>対象 中学生</p> <p>発行 2024年3月</p>	<p>中学校入学から3か月、友達やグループ作りには遅れた灯可理は休み時間の教室や移動の時も一人である毎日だ。海岸で見つけた美しい石を友達のように大事に持ち歩き、人目を避けるよう行動していた灯可理は、ある日学校の裏口近くの小部屋で活動する、海岸の石を拾ってきて磨く「みがき部」の存在を知る。「自分の石を磨いてみない？」という先輩の誘いに、緊張しつつも一歩を踏み出し入部を決意、一人であることを怖がらない先輩や個性的な同学年の仲間と過ごすうちに、教室でも自然体で過ごせるようになっていく。人と一緒になくても自分らしくいることへの勇気をもらえる一冊。実在する糸魚川市立糸魚川中学校「研磨部」に取材して書かれた。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p><b>13</b></p> <p>書名 学校に行かない僕の学校</p> <p>著者等 著 尾崎英子</p> <p>出版社 ポプラ社</p> <p>定価 1,600</p> <p>対象 中学生</p> <p>発行 2024年5月</p>	<p>14歳の薫は、ある出来事から自室に引きこもり、学校に行くことができない。父親ともうまくいかずに家に居づらくなった薫は、自ら選んだ森の中のフリースクールにやってきた。そこでは運営する大人数人と、小5から中3までの11人の子どもが寮で生活をともししていた。生活の基本ルール以外は自由な環境の中で、同い年の2人と森の中で過ごしたり、近所のおばあさんの畑を手伝ったりしながら徐々に心を開いていく。仲間を思いやることや、美しい自然の中で生きること、命を終えることを学びながらやがて心身が解放され、自分の抱えた問題とも向き合えるようになる。学びの場は学校だけではないこと、それぞれに豊かな未来があることが伝わる物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
	<p><b>14</b></p> <p>書名 ぼくの心は炎に焼かれる 植民地のふたりの少年</p> <p>著者等 作 ビヴァリー・ナイドゥー 訳 野沢佳織</p> <p>出版社 徳間書店</p> <p>定価 1,700</p> <p>対象 中学生</p> <p>発行 2024年3月</p>	<p>1951年、イギリス植民地時代のケニア。農場主グレイソンの息子、マッシューは台所で下働きをするキクユ人少年ムゴを兄のように慕っていた。ムゴの父親カマウは、グレイソンにも信頼される誠実な使用人だ。しかし、白人の支配による理不尽に反発し、自分たちの土地を取り戻そうとする「マウマウ」と呼ばれるキクユ人の集団が農場を襲う事件が増えていく。農場主たちが警戒感を強くする中、グレイソン農場の小屋が燃える。これもマウマウの仕業なのか？マッシューは小屋が燃えた本当の理由を知っているのだが…。対立の炎は人々の心も焼き尽くすのか。アフリカの美しい自然を背景に、白人と黒人二人の少年の視点から語られる、歴史フィクション。</p> <p>(分類番号 933)</p>
	<p><b>15</b></p> <p>書名 キングと兄ちゃんのトンボ</p> <p>著者等 著 ケイスン・キャレンダー 訳 島田明美</p> <p>出版社 作品社</p> <p>定価 2,200</p> <p>対象 中学生</p> <p>発行 2024年4月</p>	<p>ルイジアナの黒人少年、キングは13歳。大好きだった兄のカリッドが心臓発作のため18歳の若さで突然死してしまい、家族全員が深い悲しみから立ち直れずにいる。キングは兄が寝言で語った宇宙や人間の神秘、死んだらトンボに生まれ変わるという予告話を信じて湿地帯のトンボの中に兄を探している。そんな中、親友のサンディから「自分はゲイである」という秘密を打ち明けられたキングだが、混乱してうまく対応できないまま、サンディが失踪してしまう。キングはサンディを探そううちに自分自身の心の弱さやマイノリティへの差別と向き合い、自分を偽らずに生きることの大切さに気づいていく。家族の理解と愛情、友情に支えられて成長していく物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>



 <p>カラフル 阿部暁子</p> <p>第1位 『ごきげんな顔で笑っている人』が「ハフ・スター」の 阿部暁子、最新作!</p>	<p><b>16</b></p> <p>書名 カラフル</p> <p>著者等 著 阿部暁子</p> <p>出版社 集英社</p> <p>定価 1,600</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年2月</p>	<p>綾峰高校入学式の朝、新入生の荒谷伊澄は駅のホームでひったくり犯に遭遇する。逃げる犯人の前に出て足止めをしようとしたのは、ただ一人車椅子に乗った少女渡辺六花だった。それを見た伊澄は走り出し、ひったくり犯を捕まえるが、六花と言い合いになる。実は六花も綾峰高校の新入生で、二人は同じクラスになる。中学の時に怪我をして陸上を続けることができなくなった伊澄は、高校では何事にも本気にならないつもりだった。そして、六花はミュージカルスターを夢見ていたが、中学生で病気になり車椅子ユーザーとなる。誰もがそれぞれの事情と思惑を抱えて生きている。前向きな六花やクラスメートたちを通じて、差別や障害について考え、伊澄のモノクロだった世界がカラフルに変化していく。挫折と再生の青春物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>
 <p>鳥人王 額賀滯</p>	<p><b>17</b></p> <p>書名 鳥人王</p> <p>著者等 著 額賀滯</p> <p>出版社 光文社</p> <p>定価 1,600</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年2月</p>	<p>御子柴陸は30歳を迎えたばかりの売れないお笑い芸人。高校時代からの友人富永英樹と「パセリパーティ」というコンビを組んでいる。唯一レギュラー出演している番組は「アスリートChallenge」、通称アスチャレというテレビのスポーツバラエティ。アスリート芸人としていろいろな企画に参加しているが、現状に焦りや葛藤を抱えていた。次の企画は棒高跳びに決まり、パリオリンピックを目指すイケメン大学生のアスリート犬飼と出会う。悲劇的な過去を背負った犬飼は、世間のイメージを崩さない役者を演じているが、実はいけ好かない奴で何かと御子柴に絡んでくる。マスターズ大会に参加した御子柴は、どんどん棒高跳びにのめり込んでいく。殻を破った二人が、それぞれの跳躍に挑んでいくスポーツ小説。</p> <p>(分類番号 913)</p>
 <p>立つ風 柚月裕子</p>	<p><b>18</b></p> <p>書名 風に立つ</p> <p>著者等 著 柚月裕子</p> <p>出版社 中央公論新社</p> <p>定価 1,800</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年1月</p>	<p>小原悟は父の孝雄とともに盛岡で南部鉄器の工房を営んでいる。寡黙で頑固者の職人である父がある日突然、補導委託員として問題のある少年を預かると言い出した。仕事一筋で決して良い親とは言えなかった父にわだかまりを持つ悟は、納得いかぬまま少年晴斗を迎え入れることになり戸惑う。しかし、晴斗と工房で共に働いて同じ屋根の下で暮らすうちに、悟の心にも少しずつ変化が訪れる。繊細でいい子の晴斗がなぜ問題を起こしたのか。春斗と両親との関係、悟と孝雄との関係、形は違うがどちらも親と子の愛情を拗らせていたことに気が付く。世代の違う不器用な親子がお互いの気持ちに気づき、関係を再生させていく家族小説。</p> <p>(分類番号 913)</p>
 <p>僕たちは星屑でできている マンジート・マン</p>	<p><b>19</b></p> <p>書名 僕たちは星屑でできている</p> <p>著者等 作 マンジート・マン 訳 長友恵子</p> <p>出版社 岩波書店</p> <p>定価 2,200</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年1月</p>	<p>イギリス南部ドーバーに住む高校生のナットことナタリーは母親をガンで亡くし、家族である父と兄ライアンの心は喪失感でバラバラになってしまう。悲しみに暮れる中、ナタリーは母親の遺志を継いで難民支援のプロジェクトであるドーバー海峡横断泳へのチャレンジを決意する。そのころ、アフリカの軍事独裁国家エリトリアでは、反体制の発言をした父親を兵士に殺され、姉は行方不明、自分に送られてきた徴兵通知から逃れるため、サミーことサミュエルがイギリスを目指して命がけの危険な旅に出る。数々の困難を乗り越え、ようやくヨーロッパへたどり着くが、移民・難民を排斥する社会の圧力がサミーを苦しめる。そんな中、偶然の奇跡がナットとサミーを結び付ける。絶望と希望に寄り添う力強い詩物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
 <p>注文に時間がかかるカフェ 大平一枝</p>	<p><b>20</b></p> <p>書名 注文に時間がかかるカフェ たとえば「あ行」が苦手な君に</p> <p>著者等 著 大平 一枝</p> <p>出版社 ポプラ社</p> <p>定価 1,800</p> <p>対象 高校生～</p> <p>発行 2024年1月</p>	<p>「注文に時間がかかるカフェ」とは、吃音で悩む人達のために、同じ障害を持つ奥村安莉沙さんが始めたプロジェクト。吃音は話し言葉が滑らかに出不い発話障害のひとつで、同じ一音を繰り返す連発、最初の音を引き伸ばす伸発、言葉が出にくい難発など人によって症状は異なる。成人の100人に1人、全国で約120万人が吃音を持っている。人と話したいけど言葉がうまく出ない、「いらっしやいませ」や会計時の代金が言えず、やりたかった接客アルバイトを諦める。そんな悩みを抱えた若者たちが、奇想天外な1 Dayカフェのスタッフに応募してくる。そこは主催者が場所と資金を提供し、障害を持つ人が接客を担当する予約制のカフェだった。吃音を理由に夢を諦めてしまう人に勇気を与える活動を取材したノンフィクション。</p> <p>(分類番号 496)</p>